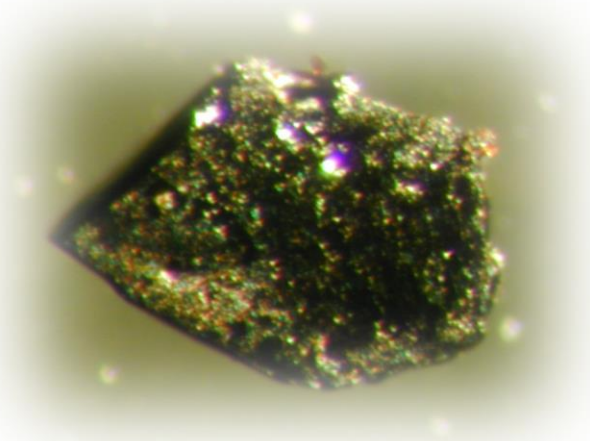
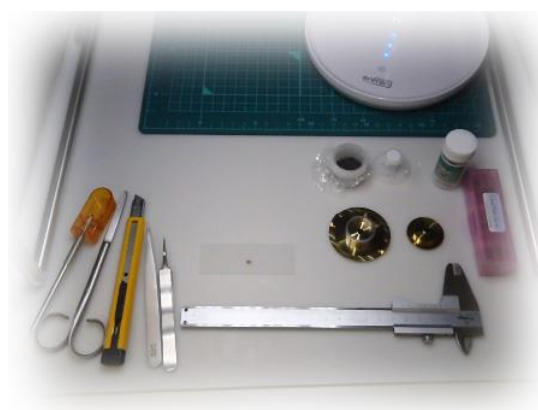
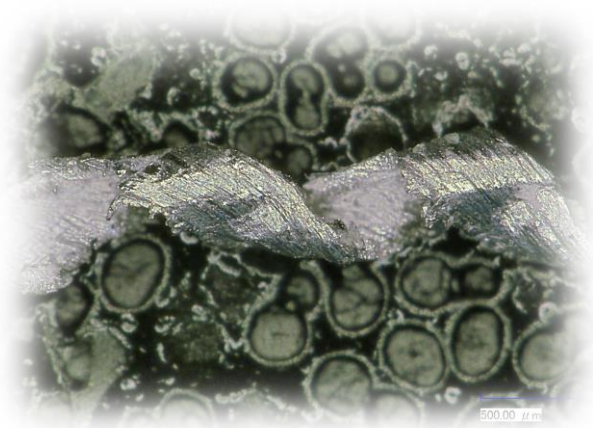


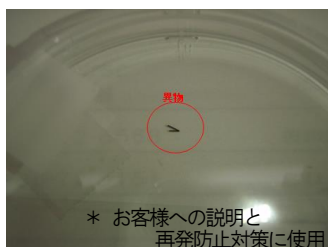
異物検査のご案内



一般財団法人三重県環境保全事業団

💩! 異物は、飲料水、食品、製品など、様々な媒体に突然混入します
💩! さらに、製品や建物内の壁・タイルなどに付着する場合があります

弁当の食材に混入した異物



お酒に混入した異物



野菜に混入した異物



水道蛇口に付着した異物



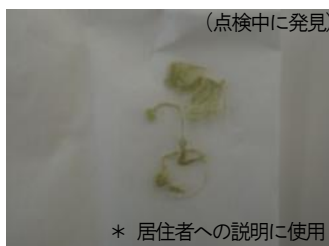
タイルに付着した青色の異物



公衆浴場のろ過材に付着した異物



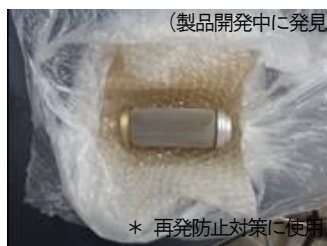
水道管内に付着した異物



浴槽場のタイルに付着した異物



ろ過材を目詰りさせた異物



異臭(飲料水)



飲料水、食品や製品などへの異物混入や建屋内の壁・タイルなどの異物付着は、消費者や居住者などに大変な不快感を与えます。

このため、異物発生時の対応を誤れば、事業者にとっては大きなイメージダウンとなり、社会的な信用を大きく損なうことにもなりかねません。

異物の混入や付着を100%防ぐことは非常に困難です。このため、事業者の信頼性を高めるためには、異物発生時に、**異物の特定、原因追求並びに再発防止策を迅速に講じる**ことが重要です（異物の特定は、原因追求と再発防止対策立案の重要な情報となります）。

三重県環境保全事業団では、これまでの分析業務で得られた幅広い経験・知識を生かし、水道水、食品、製品中に混入または付着した異物などに対する**検査結果を迅速にご提供**いたします。

異物検査業務の流れ

試料量は、少量でも可能です。
お客様がご提供できる範囲で
可能な分析をご提案します！

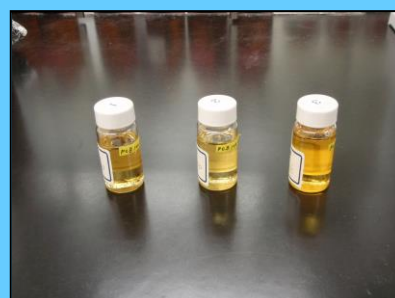
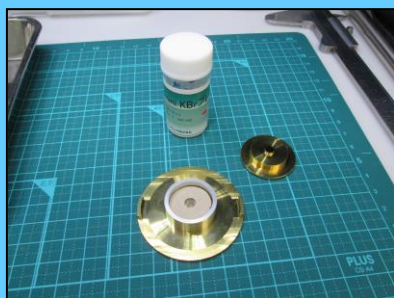
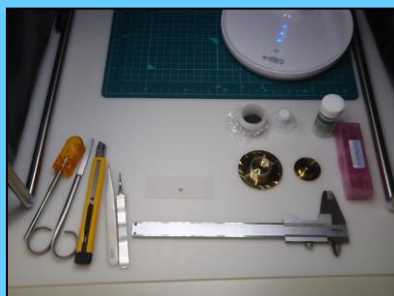
1 試料の受付

異物検査のお問い合わせは、電話・FAX、又はホームページからオンライン申込みをご利用ください。その際、下記の内容を担当者にお伝えください。不明の場合はその旨をお伝え下さい。

- ◎ 異物発生場所(例：水道水、製品中、食品中、住宅内の壁など)
- ◎ 異物の発生状況(大まかで結構です)
- ◎ 異物の大きさと色(例：直径 2mm 程度、黒色、1g 程度など)
- ◎ 臭い(特に、異臭検査の場合は重要な情報源になります)

2 異物の外観観察及び前処理(異物の取り出しなど)

最初に、色、形態、臭い、硬さ、表面の形状などを目視、実体顕微鏡等で確認します。



- ◎ 異物の外観観察の結果から、定性分析に用いる分析機器を選択します。
- ◎ 異物を各試験に対応できるように抽出・調整も行います。

FAX 059-245-7516

一般財団法人 三重県環境保全事業団 環境分析課 宛

枠内をご記入後FAXでお送りいただくか、または、お電話にてご依頼ください。

〈お客様情報〉

会 社 名			
ご依頼者お名前		部 署 名	
ご 住 所		〒	
T E L		F A X	
ご報告先 が上記と 異なる 場合	ご住所		
	会社名 (お名前)		

〈ご依頼内容〉

検 査 の 目 的	<input type="checkbox"/> 異物検査	<input type="checkbox"/> 異物簡易検査	<input type="checkbox"/> 臭気定性検査 (HS-GC/MS 法)
異 物 発 生 場 所	<input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> ()	
異 物 発 生 状 況	<input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> ()	
異物の大きさ及び色	<input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> (大きさ :	色 :)
異物からの臭い	<input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 無 臭	<input type="checkbox"/> その他 ()
異 物 の 検 体 数	<input type="checkbox"/> 1 検体	<input type="checkbox"/> _____ 検体	
必 要 書 類	<input type="checkbox"/> 見積書 <input type="checkbox"/> 請求書 <input type="checkbox"/> その他 ()		
そ の 他 お問い合わせ			

異物検査業務料金表

分 析 項 目	1 検体又は測定 1 回毎 の料金(円：税別)	検 査 内 容
異物簡易検査	8,000	主に実体顕微鏡観察。金属、ガラス、植物などに分類。
異物検査セット分析	20,000	機器を用いて主成分を特定。電子（光学）顕微鏡、FT-IR 装置、蛍光 X 線装置から異物の性状に合わせて選択。
臭気定性試験（HS-GC/MS 法）	30,000	臭気成分の定性分析。
顕微 FT-IR 測定	20,000～	有機化合物の定性分析。
熱分解-GC/MS 分析	35,000～	高分子化合物の定性分析。
異物検査+熱分解-GC/MS 分析	35,000	異物検査で FT-IR 測定以外に py-GC/MS が必要な場合。